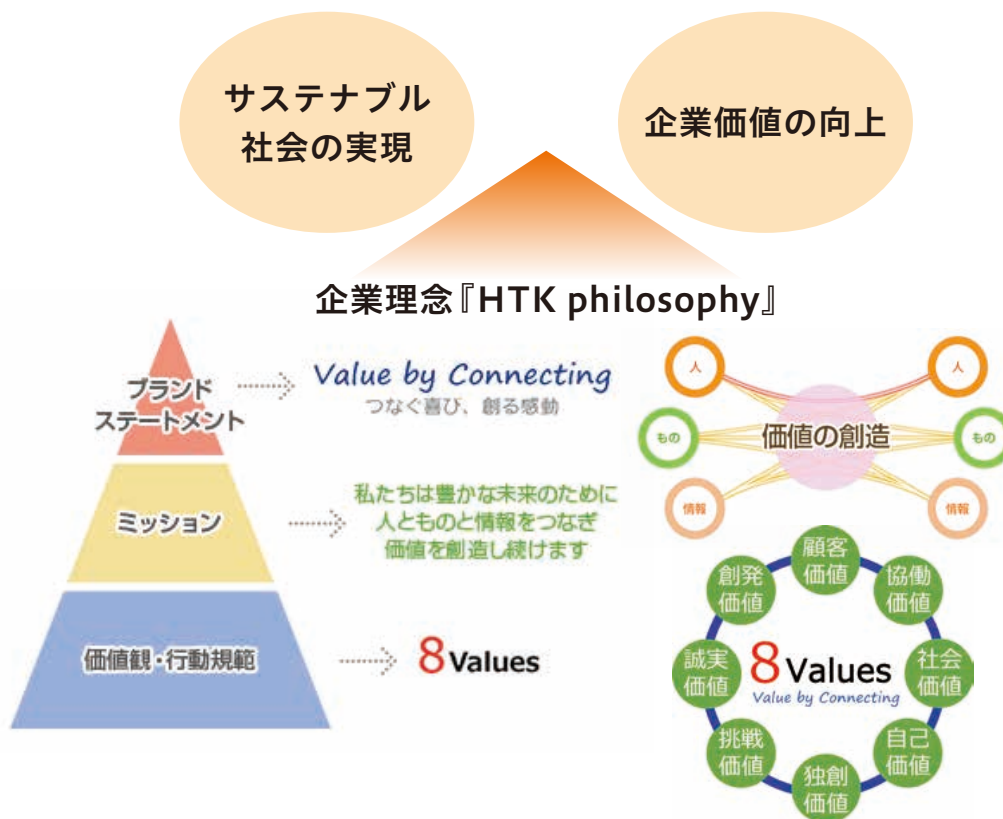


サステナビリティ方針

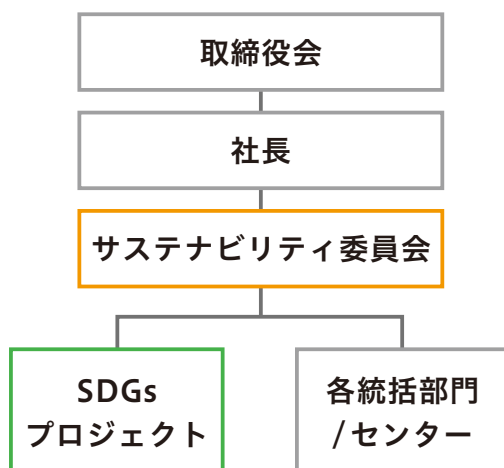
サステナビリティ基本方針

本多通信工業は、企業理念に基づいたサステナビリティの取組みを展開し、「サステナブル社会の実現」と「企業価値の向上」の両立を目指します

- 企業理念をベースとして社員の力を結集し、“つなぐ”を通して社会課題の解決に取り組みます
- 「環境」「社会」への価値創造とリスク対応、それらを実現・実践するための「人材」「ガバナンス」の観点から重点テーマを設定し、当社グループの重要課題として取り組みます
- 社外取締役をアドバイザーとした社長直轄のサステナビリティ委員会を設置し、本取組みを積極的かつ適切に推進し、開示します



サステナビリティ推進体制



● サステナビリティ委員会

社長が委員長を務め、社外取締役をアドバイザーとして置いています。

サステナビリティに関する方針や施策について議論し、SDGsプロジェクトや各部門での活動の推進を監督しています。

● SDGsプロジェクト

コーポレートセンター担当役員をプロジェクトリーダーとして、部門を横断するテーマの具体的な推進やモニタリングを実施しています。

サステナブル社会の実現



○=機会、▲=リスク

環境 (P.8~9)

脱炭素・循環型社会に向けて

- ・温室効果ガスの排出量削減
- ・廃棄物の削減

社会 (P.10~12)

社会の健全な進化に向けて

- ・つなぐ技術の磨き上げ
- ・健全で強固なサプライチェーンの構築
- ・地域社会への貢献

○低炭素/環境配慮型製品の需要増

▲異常気象による操業停止・サプライチェーンの寸断・物理的損害

▲コスト増(炭素税・電気料金等)

○高付加価値/競争力ある商品の創出

○地域での安定操業

▲人権問題/不公正な取引による信用失墜・事業継続難

▲サプライチェーン弱体化による競争力低下



人材 (P.13~15)

個と組織の成長に向けて

- ・人材力の強化
- ・働きやすさと働きがいの追求
- ・健康経営の推進

ガバナンス (P.16~22)

最適なガバナンスの構築に向けて

- ・ガバナンス体制の充実
- ・コーポレートガバナンスの強化
- ・開示と対話の充実

○個の自律、組織の活性化
○労働生産性の向上

▲組織の弱体化
▲労災の増加、健康障害

○健全な企業運営による持続性の向上

▲経営の機能不全による事業停滞・損失発生